



## 開校記念日

校長 五十嵐 圭一



\* 駅伝終了後のミーティング風景

10月30日に開催しました合唱祭には、多数の保護者、地域の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。ソニックシティ大ホールでの実施は3年目となりますが、今年も生徒たちは、質の高い素晴らしい歌声を披露してくれました。

また、10月25日には、さいたま市中学校駅伝競走大会が実施されました。台風のため1日延期、会場も荒川総合運動公園から駒場陸上競技場に変更し実施されました。当日も雨天という悪条件の中、男子が45位、女子が35位と健闘しました。本校駅伝部は、様々な部活動の生徒たちで構成され、夏休みから準備を進めてきました。参加した38名の生徒たちの健闘を大いに称えたいと思います。

さて、11月1日は、本校の開校記念日です。今年で、創立71周年を迎えるわけですが、少々歴史を紐解いてみたいと思います。本校は、昭和22年に大宮市立第二中学校として開校しました。当時の生徒数は264名、教職員数はわずか8名でした。昭和22年は、戦後の新たな制度（6・3制の学校制度）のもとに、いわゆる新制中学校が発足した年です。この年、旧大宮市には、第一中学校から第五中学校までの5つの中学校が誕生しています。このうち、第二中学校が本校の前身となります。開校当初は、準備期間が短かったため独立校舎をもたず、桜木地区は桜木小学校、三橋地区は三橋小学校に併設されて発足しました。そして、昭和23年11月1日に、第二中学校から三橋中学校が分離、翌24年3



\* 昭和23年頃の桜木中朝礼の風景

月31日に、校名を桜木中学校と改称しました。同年、旧大宮高等女学校跡地である現在地に移転し、名実ともに独立しました。この三橋中学校が分離した11月1日が、後に本校の開校記念日となりました。



\* 合唱祭での6組の演奏

その後、昭和30年代には、生徒数1000名、学級数20学級を超える年もありましたが、平成になってからは、概ね生徒数400～500名、学級数15学級前後で推移し、平成28年度末で卒業生総数は、1万4219名に上ります。また、平成15年度には、現在の鉄筋3階建新校舎が完成し、現在に至っています。



\* 赤ちゃんふれ合い風景

これまでの本校の歴史と伝統は、地域の皆様、保護者の皆様の長年にわたるご支援の賜物であり、現在の在校生を含めた1万4000名を超える生徒たちが築き上げたものです。改めまして感謝申し上げます。今後も生徒、教職員一丸となり、さらなる発展を目指してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

10月10日(火)～11日(水)に行われた「赤ちゃん・幼児ふれ合い体験(3年生)」には、1クラス15組以上の大勢の親子の方々にご協力いただき、本当にありがとうございました。